

平成24年 9月24日  
株式会社日本政策金融公庫

## 農業全体の景況が3期連続改善、多くの業種で景況DI上昇 燃料・飼料コスト増でも販売価格への転嫁に難しさ

－ 日本公庫・平成24年上半期農業景況調査結果 －

日本政策金融公庫（日本公庫）農林水産事業が7月に実施した平成24年上半期農業景況調査で、農業全体の景況DIは改善傾向にある一方、生産コスト増加に対して容易に販売価格に転嫁できない実態が明らかとなりました。詳細は以下のとおりです。

<調査結果のポイント>

### ○ 24年上半期景況DIはマイナス幅が縮小、プラス値に転じた業種も（図1）

農業全体の24年上半期の景況DIは、23年（▲7.9）に比べ、マイナス幅が6.5ポイント縮小しマイナス1.4となり、23年上半期以降、3期連続の上昇となった。

施設野菜（▲15.7→18.0）・酪農（北海道▲26.9→0.6、都府県▲24.2→4.3）・露地野菜（▲14.0→7.9）・果樹（▲11.7→3.7）の4業種で、景況DIがマイナス値からプラスに転じたほか、肉用牛（▲47.4→▲19.6）・施設花き（▲38.8→▲15.2）・茶（▲47.3→▲32.9）・畑作（▲19.1→▲9.8）・ブロイラー（▲6.3→0.0）の5業種において、マイナス幅が縮小した。

一方で、景況DIが悪化した業種は稲作で、プラス値が縮小した（北海道43.5→7.2、都府県13.1→8.1）。養豚はマイナス幅が拡大（▲6.2→▲22.3）し、採卵鶏はプラス値からマイナスに転じた（8.4→▲43.1）。きのこは、ほぼ横ばいのマイナス値となっている（▲47.1→▲47.0）。

### ○ 生産コスト負担増は、耕種が燃料、畜産が飼料（図2）

農業景況調査と併せて実施した、生産コストに関する調査で最近特に負担が増えたと感じる生産コストとして、耕種では重油、灯油といった燃料代（66.2%）、続いて肥料代（43.4%）が上位で、特に燃料代について、茶・施設花き・きのこの8割以上が、負担が増えたと回答している。

畜産については、飼料代（81.8%）が最多となり、全ての畜産業種において最も多い回答となっているほか、燃料代（51.7%）についても、畜産全体で約半数が負担が増えたとの回答となっている。

電気代は、生産環境維持のために多くの電力を必要とする、きのこ・養豚・採卵鶏・ブロイラーの約3割が負担が増えたと回答している。

○ 「生産コスト対策なし」が最多、販売価格への転嫁に難しさ（図3）

生産コストの増加対策として実施していることについて調査したところ、「対策がない」との回答が最多の30.7%、続いて「使用量の節約」が30.1%、「安価な物への変更」が21.4%などとなった。また、回答が最も少なかったのは、「販売価格への転嫁」の4.1%で、農業者は、生産コストが増加しても、容易には販売価格に転嫁できない実態が明らかとなった。

一方で、負担が増えた生産コストとして、燃料代・電気代・消耗資材費・農薬代を選択した者が実施している対策では、「使用量の節約」が最も多い回答となっており、農作業の中で留意することで実行できるコスト対策として、積極的に節約に取り組んでいることも伺える結果となった。

調査時期	平成24年7月
調査方法	往復はがきによる郵送アンケート調査
調査対象	スーパーL資金又は農業改良資金の融資先のうち21,980先
有効回答数	6,715先（回収率：28.1%）

図1 農業景況天気図 (H23年実績、H24年上半期実績、H24年見通し)

景況天気図

経営部門	H23年		H24年上半期	
	実績		実績	見通し
農業全体	→  → ▲ 7.9		→  → ▲ 1.4	 ▲ 3.4
稲作 (北海道)	→  → 43.5		→  → 7.2	 ▲ 13.4
稲作 (都府県)	→  → 13.1		→  → 8.1	 3.6
畑作	→  → ▲ 19.1		→  → ▲ 9.8	 ▲ 28.8
露地野菜	→  → ▲ 14.0		→  → 7.9	 3.5
施設野菜	→  → ▲ 15.7		→  → 18.0	 18.5
茶	→  → ▲ 47.3		→  → ▲ 32.9	 ▲ 30.4
果樹	→  → ▲ 11.7		→  → 3.7	 11.6
施設花き	→  → ▲ 38.8		→  → ▲ 15.2	 ▲ 7.6
きのこ	→  → ▲ 47.1		→  → ▲ 47.0	 ▲ 47.0
酪農 (北海道)	→  → ▲ 26.9		→  → 0.6	 ▲ 2.2
酪農 (都府県)	→  → ▲ 24.2		→  → 4.3	 15.1
肉用牛	→  → ▲ 47.4		→  → ▲ 19.6	 ▲ 11.1
養豚	→  → ▲ 6.2		→  → ▲ 22.3	 ▲ 8.3
採卵鶏	→  → 8.4		→  → ▲ 43.1	 ▲ 38.9
ブロイラー	→  → ▲ 6.3		→  → 0.0	 ▲ 11.5

(注) ≤ -50 < ≤ -20 < ≤ -5  
-5 < < 5 ≤ < 21 ≤

調査様式

本年上期(1~6月)の経営はいかがでしたか。今年の作柄や出荷状況、農業をめぐる情勢を踏まえてお答えください。

農業経営の業況は

1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

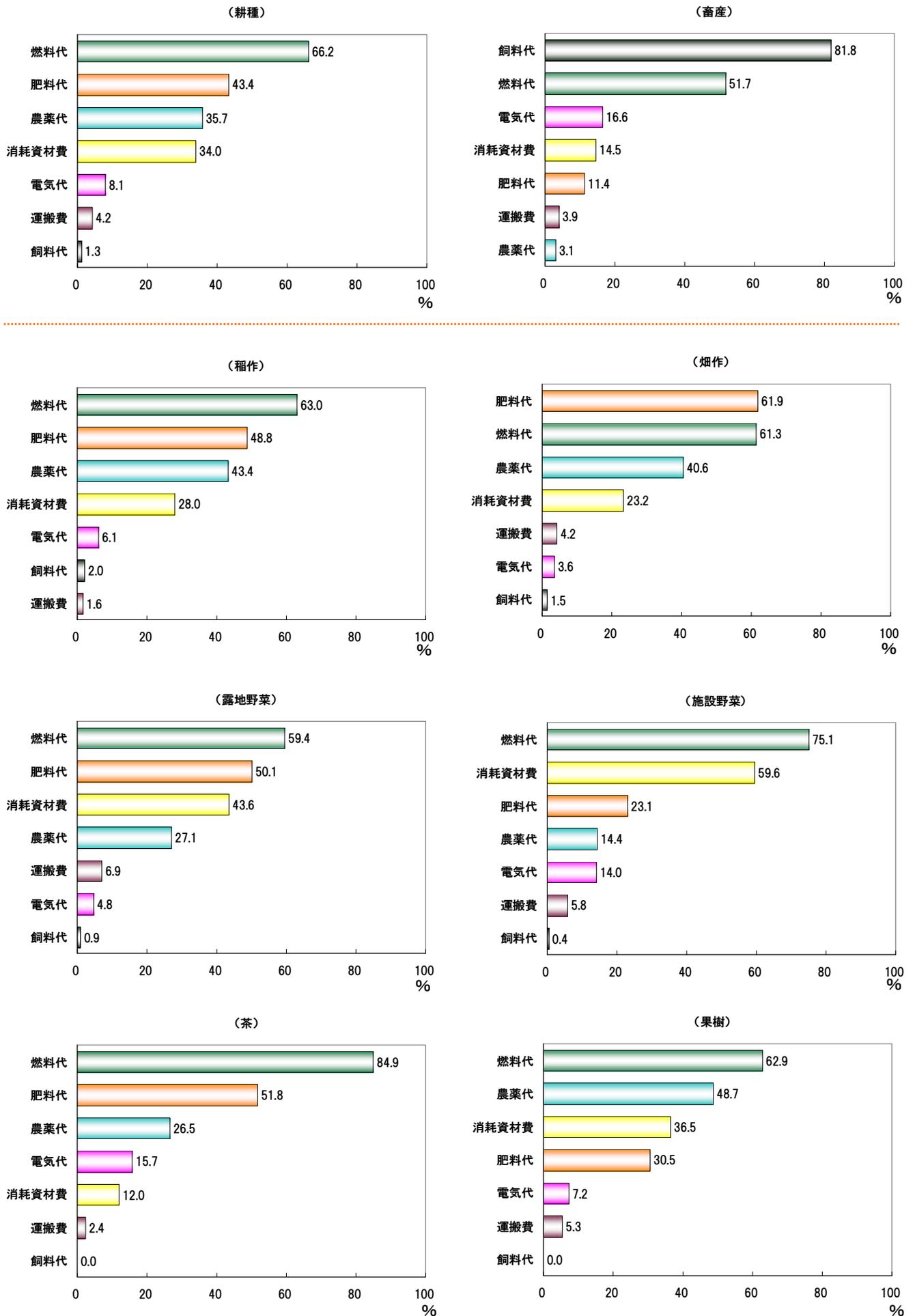
今年(平成24年)の経営見通しは、

1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

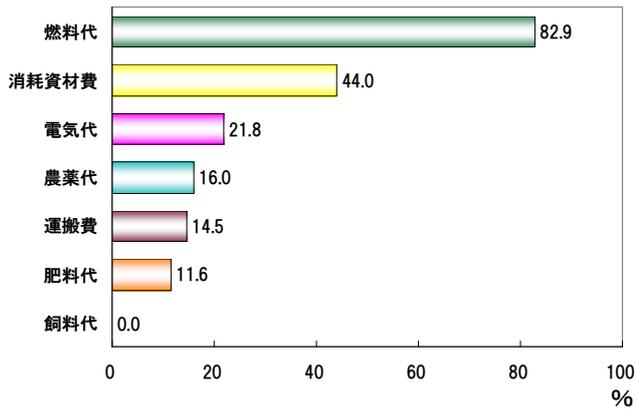
DI(Diffusion Index = 動向指数)について

DIは、前年と比較して、「良くなった」の構成比から「悪くなった」の構成比を差し引いたもの。

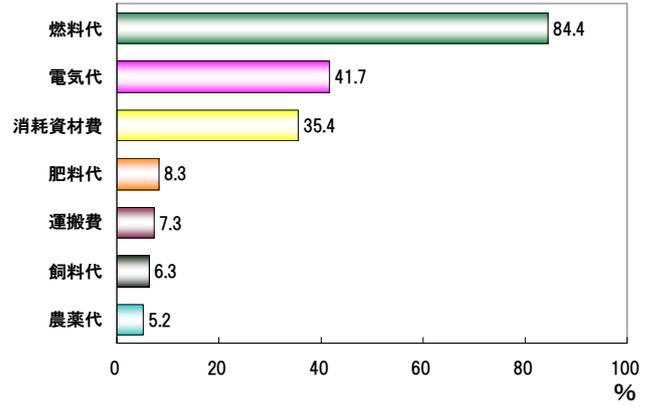
図2 価格が上昇し、最近、特に負担が増えたと感じるもの（複数回答可、2つまで）



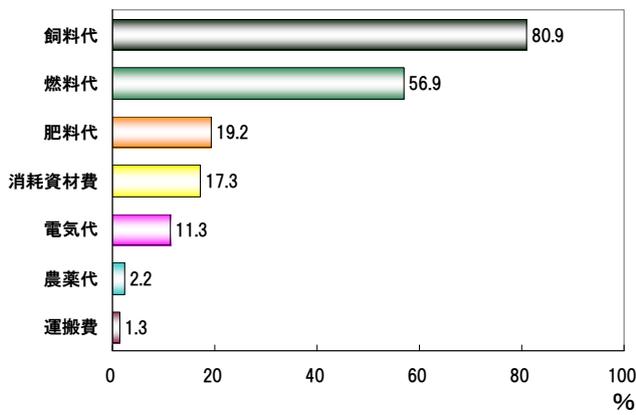
(施設花き)



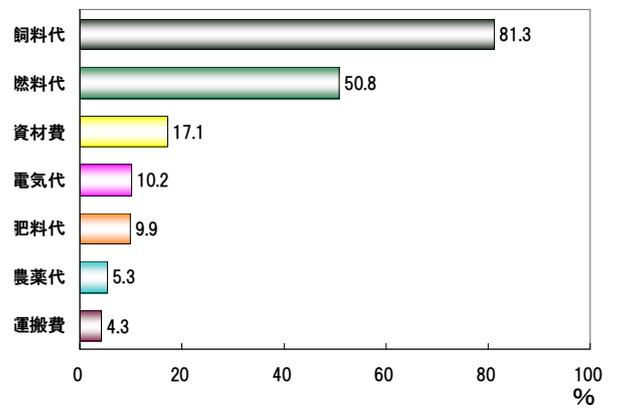
(きのこ)



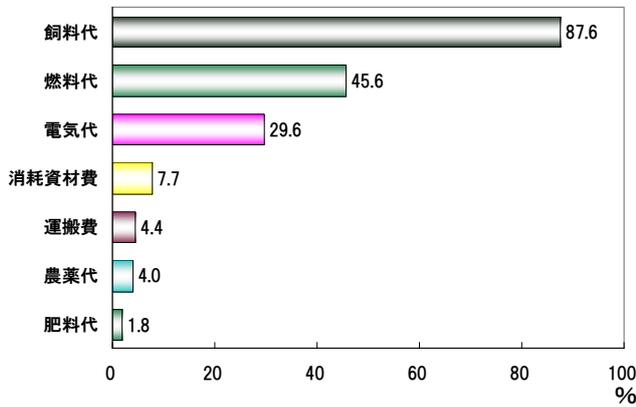
(酪農)



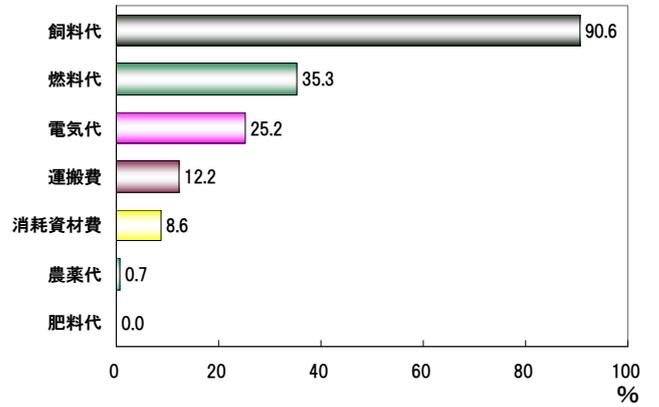
(肉用牛)



(養豚)



(採卵鶏)



(ブロイラー)

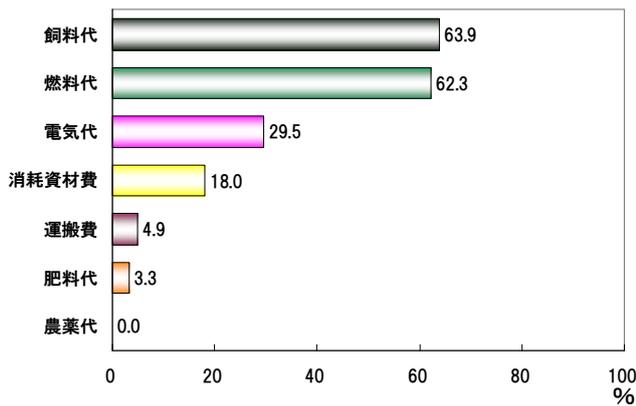
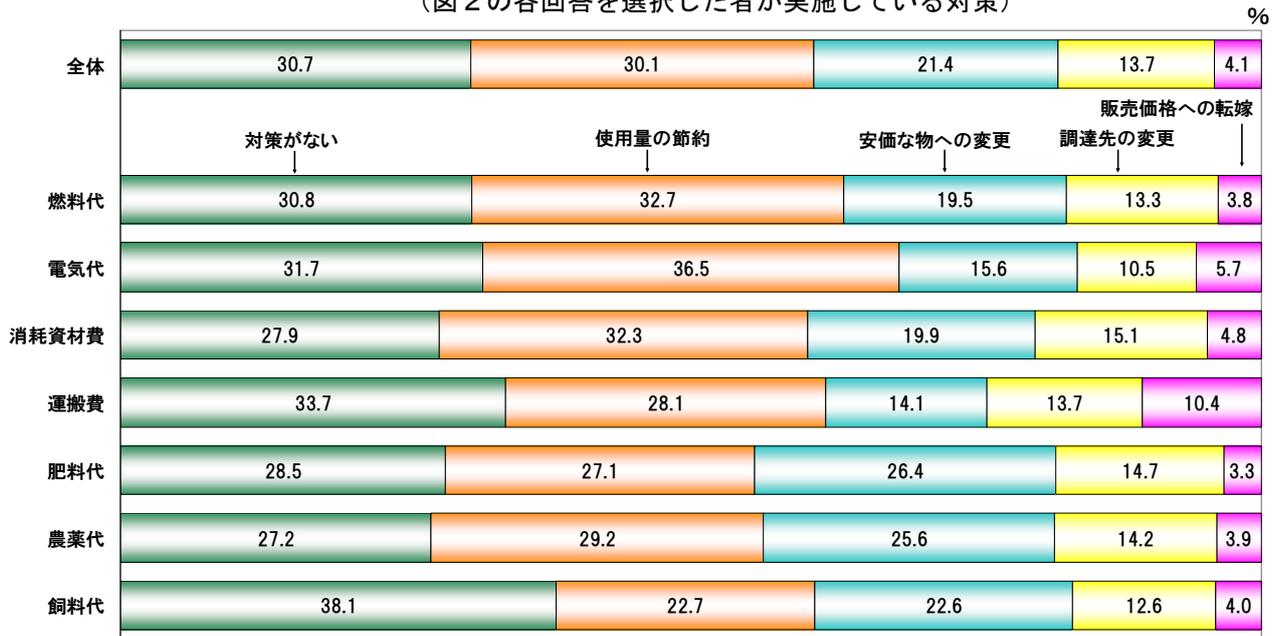


図3 生産コスト増加対策として実施していること

(図2の各回答を選択した者が実施している対策)



# 農業全体

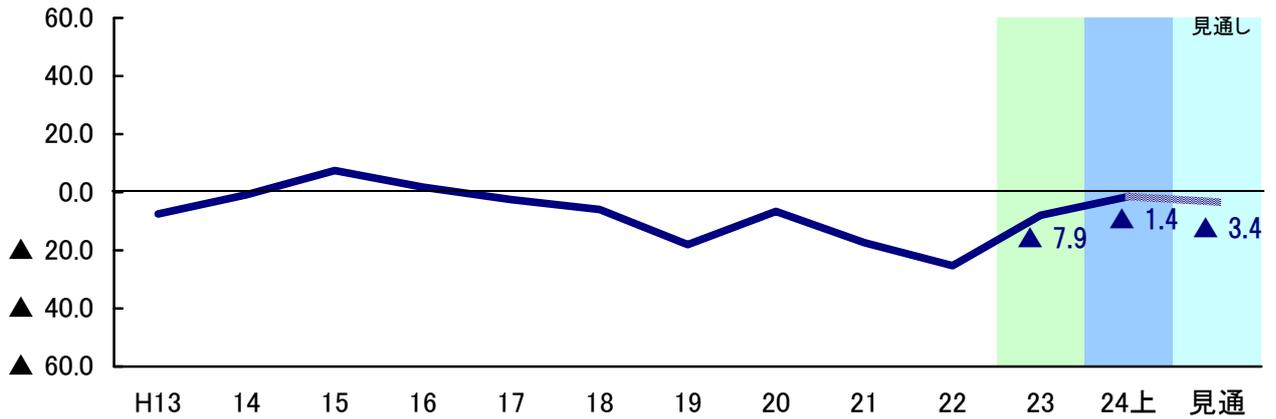
H23年 景況DI	
	▲ 7.9
東日本大震災の影響等でマイナス幅を拡大した業種もあるが、稲作がプラスに転じたことを受け、全体のマイナス幅が縮小した。	



H24年 上半期 景況DI	
	▲ 1.4
23年にマイナス値をつけていた業種の多くが、マイナス幅の縮小、又はプラスに転じたことから、全体のマイナス幅が縮小した。	



H24年の見通しDI	
	▲ 3.4
価格下落、生産コスト増、供給過剰等の懸念のある業種も多い。	



# 稲作（北海道・都府県）

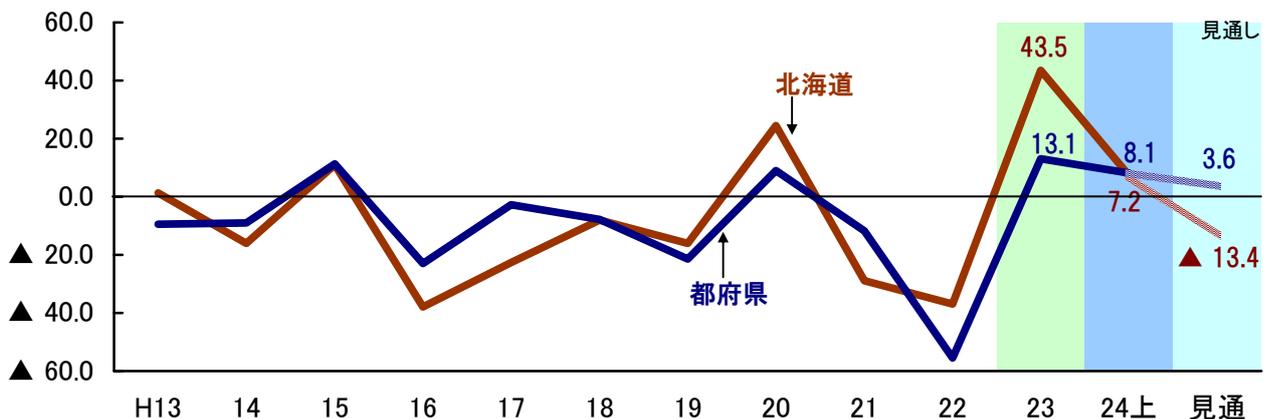
H23年 景況DI	
北海道	43.5
都府県	13.1
23年産は作況指数101、一等米比率も平常並に戻り、また、東日本大震災の影響で品薄感が強まったこと等から概算金は昨年よりも上乗せされた。	



H24年 上半期 景況DI	
北海道	7.2
都府県	8.1
23年産の卸売価格は22年産の約2割高で推移。24年産の生育は、おおむね平常並み。	



H24年の見通しDI	
北海道 ▲	13.4
都府県	3.6
作柄はおおむね平常並みであるほか、過剰作付けが見込まれており、供給過剰となる可能性がある。	



## 畑 作

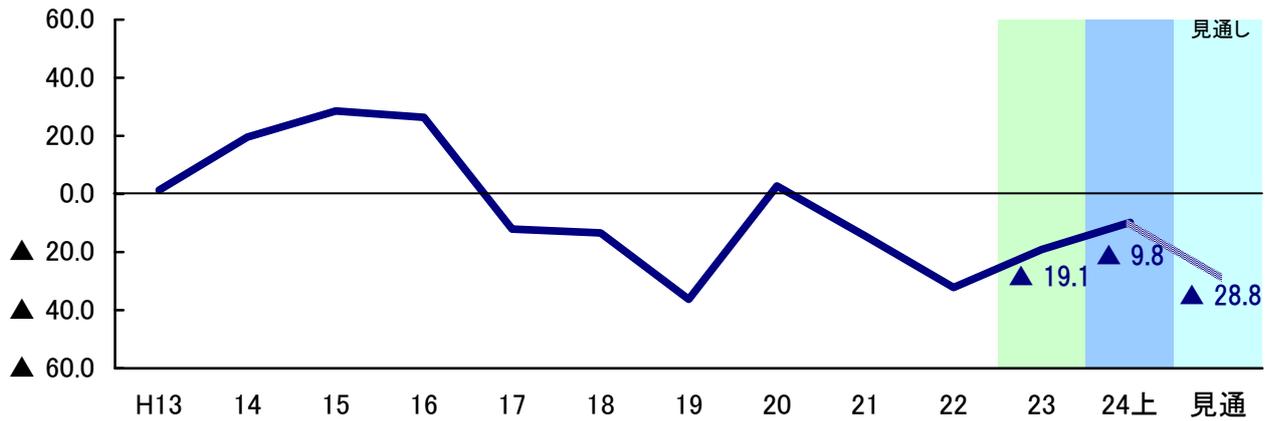
H23年 景況DI
▲ 19.1
23年産の畑作物は単収の回復により、概ね前年より収穫量が増加した。また、23年度から戸別所得補償制度が始まった。



H24年 上半期 景況DI
▲ 9.8
24年産の畑作物の生育状況は概ね順調。



H24年の見通しDI
▲ 28.8
肥料価格等の上昇によるコスト上昇懸念や、貿易自由化への懸念があるものと思われる。



## 露 地 野 菜

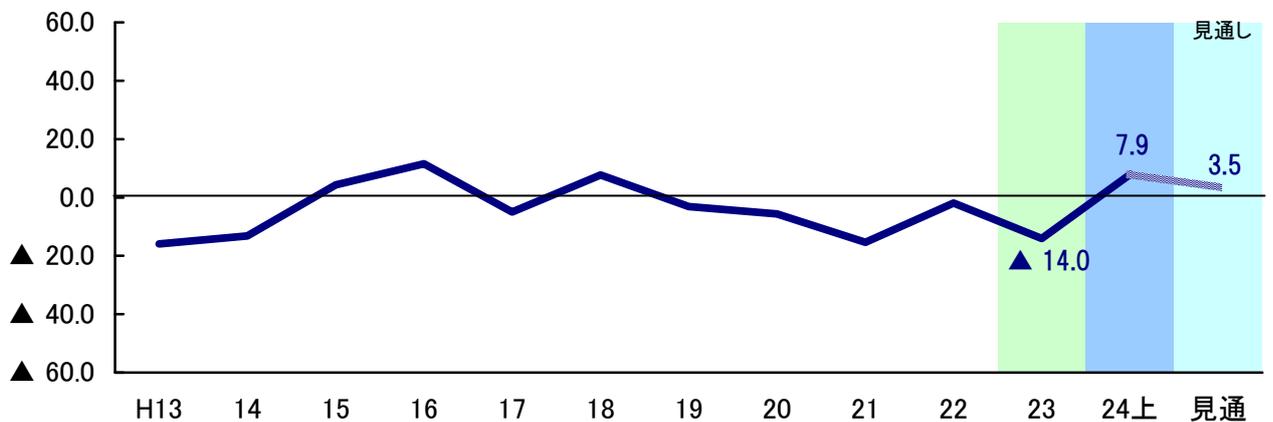
H23年 景況DI
▲ 14.0
23年の野菜の市場価格は前年と比べて軟調に推移した。



H24年 上半期 景況DI
7.9
キャベツ、レタス、ダイコンなど多くの露地野菜で、24年上半期の市場価格が前年を上回った。



H24年の見通しDI
3.5
足元の野菜価格の低下や、肥料価格の上昇懸念がある。



## 施設野菜

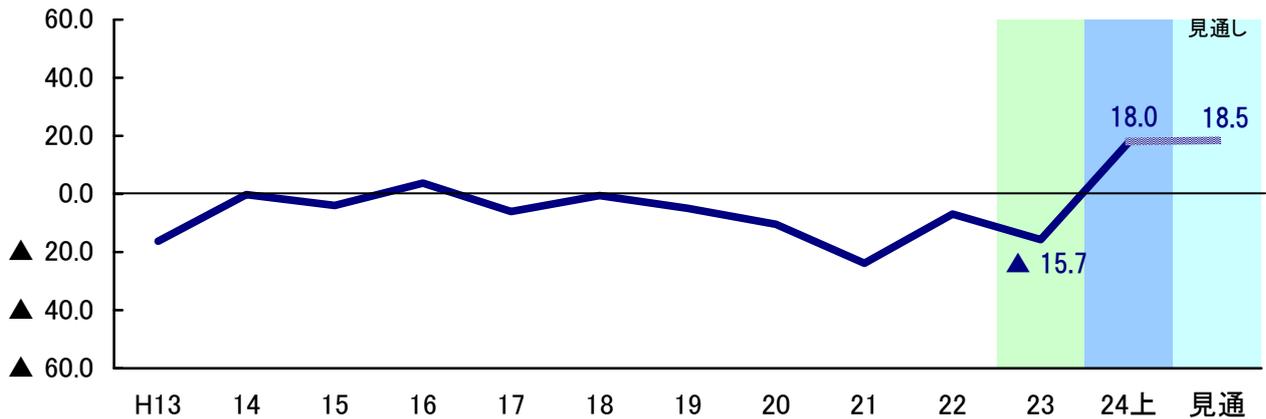
H23年 景況DI
▲ 15.7
23年の野菜の市場価格は前年に比べて軟調に推移したことに加え、燃油価格等生産コストが高止まりました。



H24年 上半期 景況DI
18.0
トマトを中心に多くの施設野菜で、24年上半期の価格が前年を上回った。



H24年の見通しDI
18.5
消費者の健康志向でトマトの需要が底堅い。



## 茶

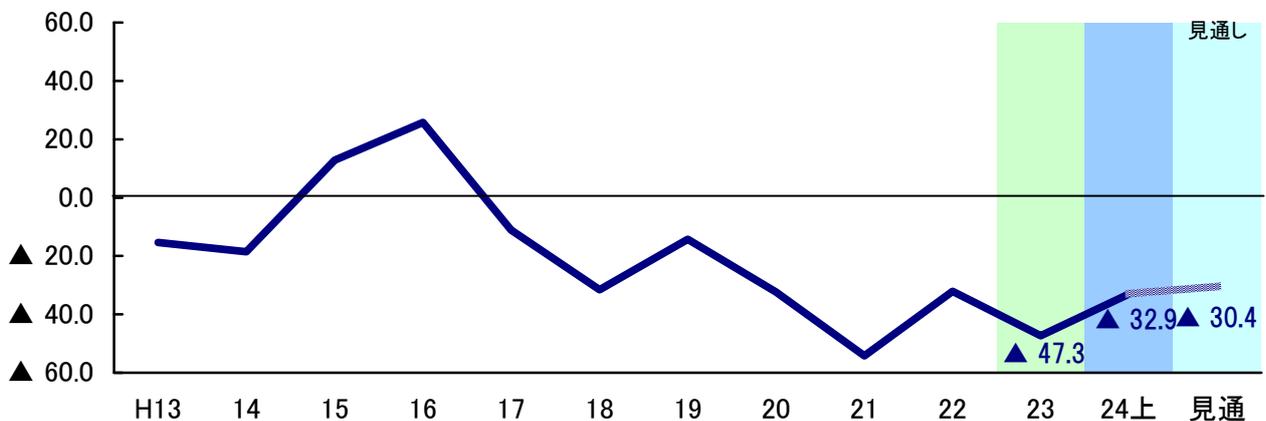
H23年 景況DI
▲ 47.3
一番茶価格が前年を割り込んだ影響が大きい。二番茶以降は相場高であった。



H24年 上半期 景況DI
▲ 32.9
生育状況、収量は全国的にほぼ平年並み。一番茶価格は、東海では天候不順等で前年を割り込んだが、九州では前年並み。二番茶は平年並み。



H24年の見通しDI
▲ 30.4
輸出動向はやや前年を下回る水準で推移。国内消費の動向に大きな変化はみられない。



## 果 樹

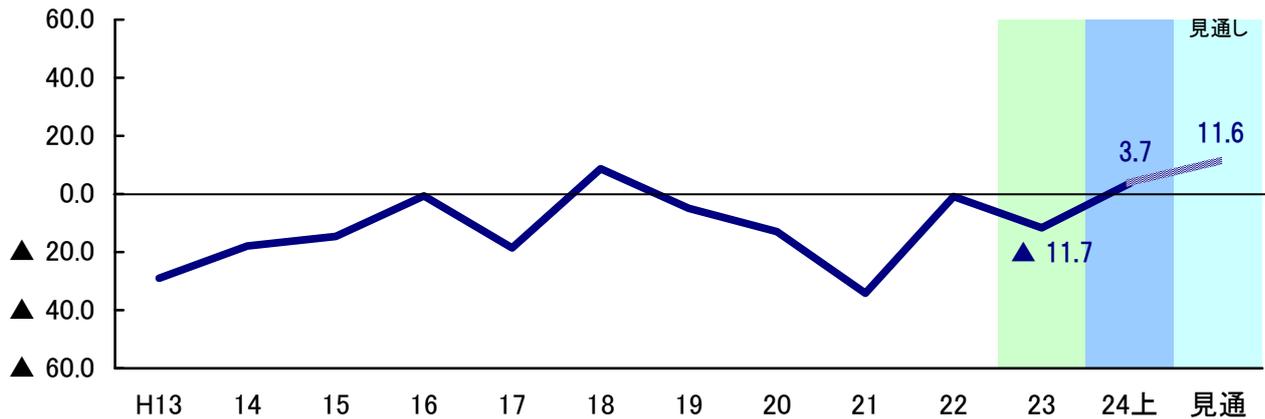
H23年 景況DI
▲ 11.7
市場取扱量は前年より多く、価格も平年並みで推移しているが、一部の地域では原発事故及び台風12号、15号等の影響がみられる。



H24年 上半期 景況DI
3.7
23年産のみかんは表年だが天候不順等で収量少なく価格も高めで推移。りんごも猛暑の影響で収量少なく、ここ10年間で最も高い価格帯。



H24年の見通しDI
11.6
全国的に天候がよく、みかん、りんごともに24年産の生育については今のところ特段の問題はない。



## 施 設 花 き

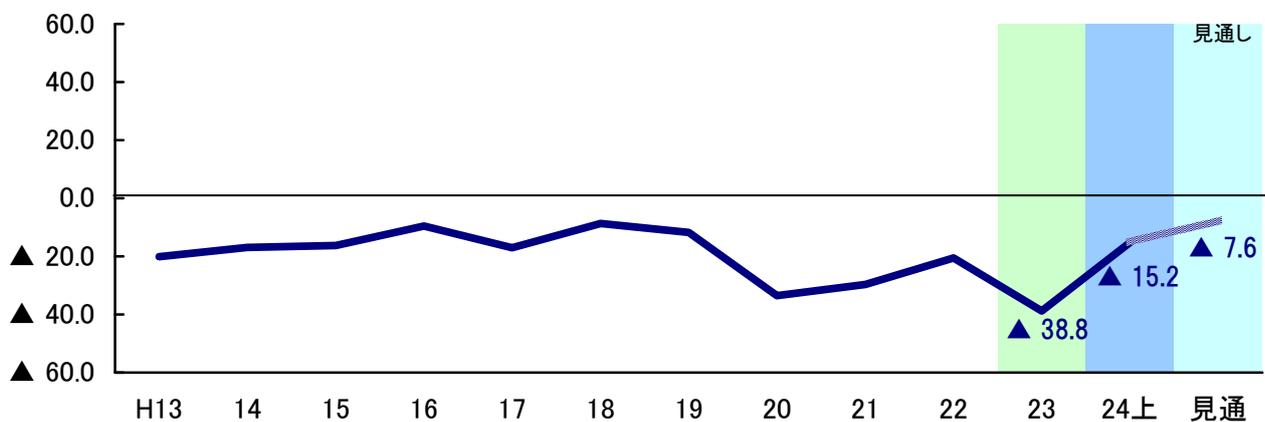
H23年 景況DI
▲ 38.8
猛暑の影響で市場取扱量減の価格高となった22年と比較して市場取扱量は若干増だが、価格は低下している。



H24年 上半期 景況DI
▲ 15.2
きくの市場取扱量はほぼ前年並み、価格は震災の影響で下落した前年と比べ2~3割高だが、平年並みの水準。6月以降は入荷増の単価安で推移。



H24年の見通しDI
▲ 7.6
全国的に天候がよく花卉類の生育は全般的に順調。冬場の燃料価格の動向を注視。



# きのこ

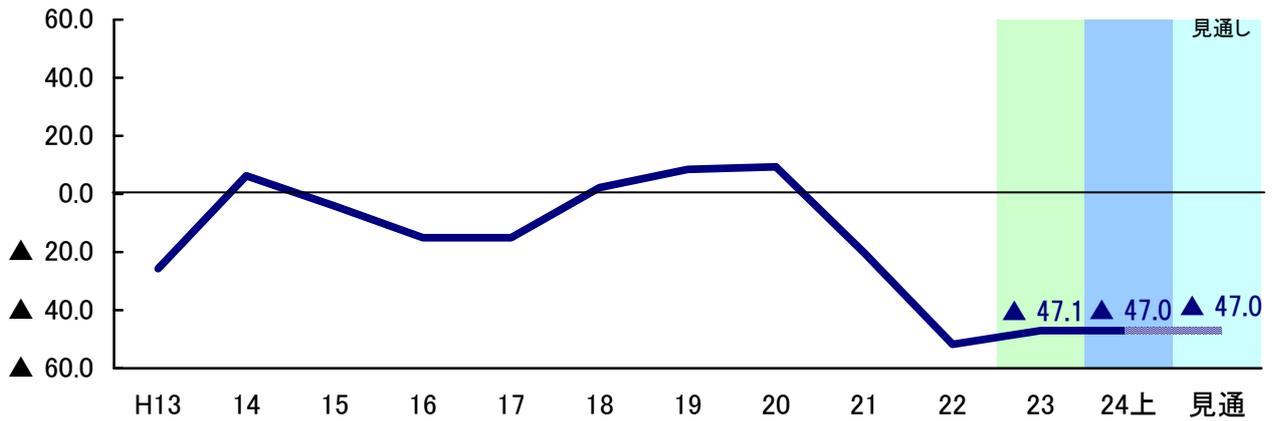
H23年 景況DI
▲ 47.1
増産により供給過剰気味となっていたことに加え、更に原発事故の影響等により、全般的に単価安の傾向が続いた。



H24年 上半期 景況DI
▲ 47.0
原発事故の影響や増産による供給過剰が続き、前年の安値を引きずる形で価格が推移。



H24年の見通しDI
▲ 47.0
大手メーカーの増産が続いていることから、単価安の状態はしばらく続く見通し。



# 酪農（北海道・都府県）

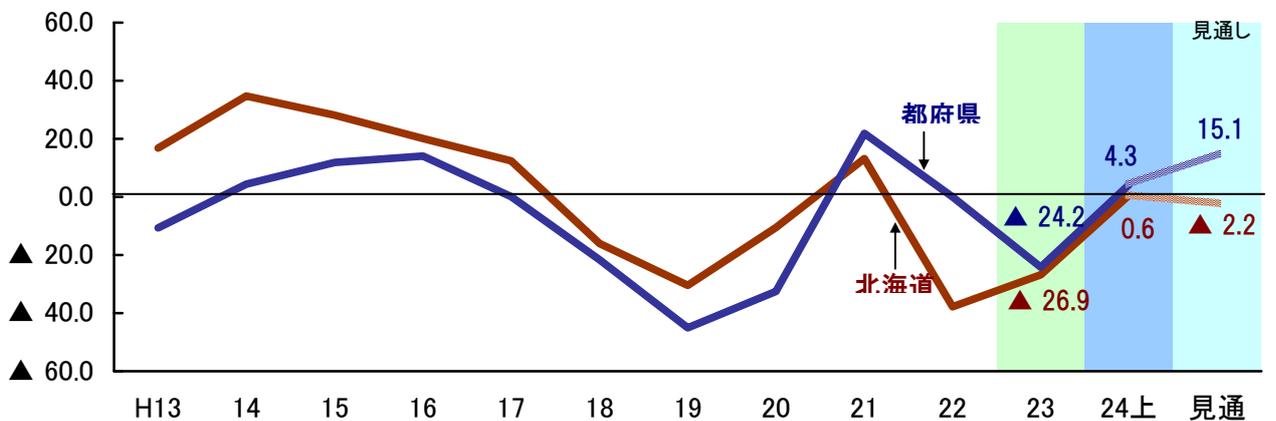
H23年 景況DI
北海道 ▲ 26.9
都府県 ▲ 24.2
22年の猛暑による繁殖影響や、東日本大震災や原発事故の影響により、都府県の生乳生産量は低下。北海道の生乳は、都府県の飲用向け等の移送が増加した。



H24年 上半期 景況DI
北海道 0.6
都府県 4.3
24年度は増産型計画生産を実施中。24年上半期の乳生産量は、北海道、都府県共に前年同期比で増加。



H24年の見通しDI
北海道 ▲ 2.2
都府県 15.1
都府県の増産に伴い、北海道は、震災後に増加していた飲用向けの都府県移送が減少傾向。



## 肉用牛

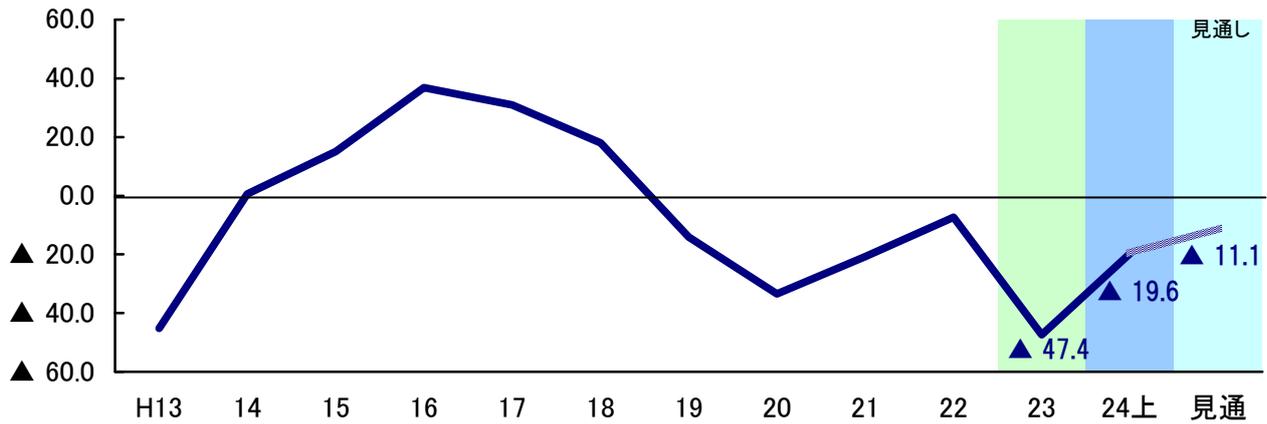
H23年 景況DI
▲ 47.4
震災後の節約傾向と、原発事故により牛肉から放射性物質が検出されたことを受け、牛肉全体の需要が激減し価格も下落した。



H24年 上半期 景況DI
▲ 19.6
23年に下落した価格は、24年に入り回復傾向で推移。



H24年の見通しDI
▲ 11.1
需要も回復し、価格は安定傾向。新マルキン事業は、24年6月分から、より地域の取引実態を考慮した平均粗収益の算定方法を導入。



## 養豚

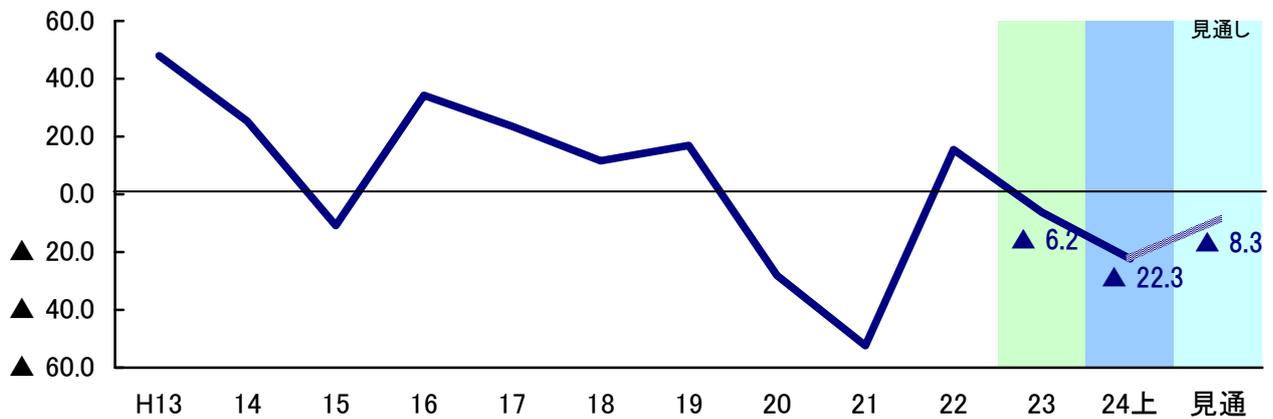
H23年 景況DI
▲ 6.2
前半は、前年からの出荷頭数の減少が続いたことなどから、価格は堅調に推移。9～11月は出荷頭数の増加のため、価格は前年度を下回って推移したが、その後は、平年並みの水準で推移。



H24年 上半期 景況DI
▲ 22.3
24年上半期の生産量は、前年同期比で増加。需給が緩み価格が下落。



H24年の見通しDI
▲ 8.3
夏季需要の増加が見込まれると共に、輸入審査の厳格化等により、輸入量はこれまでより低い水準で推移すると予測。



## 採 卵 鶏

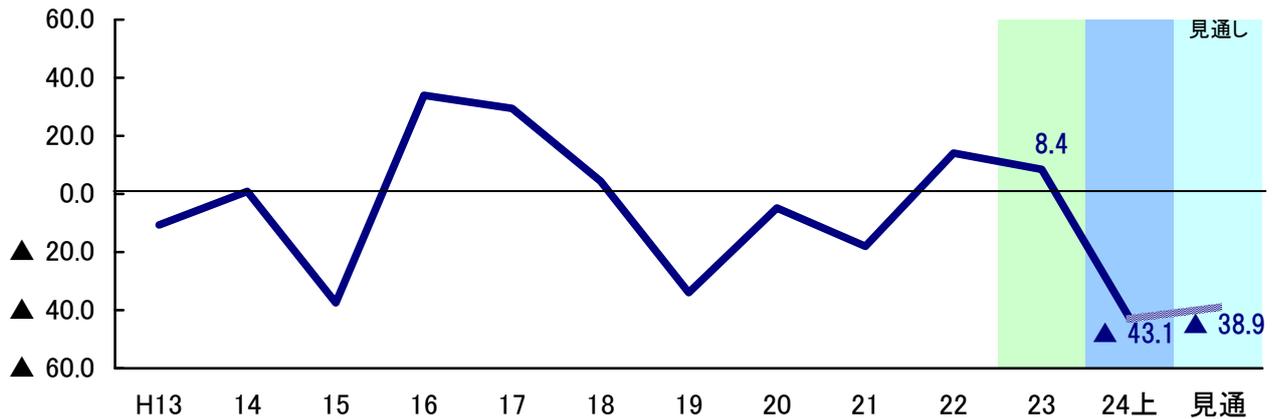
H23年 景況DI
8.4
震災影響で供給が減少し、価格が上昇。7月以降、供給が回復したことから価格は概ね平年並みで推移。



H24年 上半期 景況DI
▲ 43.1
24年当初から価格が軟調に推移。5月21日に標準取引価格が安定基準価格を下回り、成鶏更新・空舎延長事業が発動。



H24年の見通しDI
▲ 38.9
8月後半から、価格は回復傾向にあるが、22年、23年と比較すると、低価格で推移。



## ブ ロ イ ラ ー

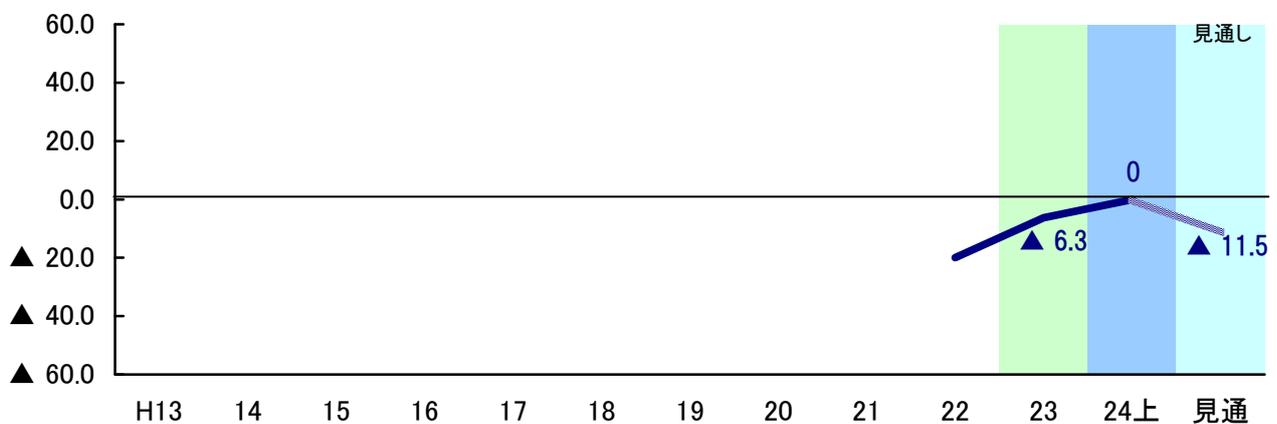
H23年 景況DI
▲ 6.3
震災が東日本の生産・出荷に大きく影響したため、年前半の価格は堅調に推移。後半は、国産の生産量減少を見込んだ輸入が増加したこと等により軟調に推移した。



H24年 上半期 景況DI
0.0
24年上半期は、生産量・輸入量ともに、前年同期比で増加したが、消費量も前年同期比で増加。



H24年の見通しDI
▲ 11.5
国産品在庫の積み増し等により、価格が軟調傾向。



(注:ブロイラーは、平成22年以降のデータより公表しています。)

■DI時系列データ

1. 景況DI

	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上半期	23年	24年上半期
農業全体	▲ 7.5	▲ 0.8	7.5	1.8	▲ 2.6	▲ 5.9	▲ 18.0	▲ 6.6	▲ 17.4	▲ 25.2	▲ 21.6	▲ 7.9	▲ 1.4
水稲(北海道)	1.4	▲ 16.1	11.0	▲ 37.9	▲ 22.7	▲ 8.1	▲ 16.0	24.5	▲ 29.0	▲ 36.9	▲ 12.2	43.5	7.2
水稲(都府県)	▲ 9.4	▲ 9.0	11.3	▲ 23.0	▲ 2.8	▲ 7.8	▲ 21.4	9.1	▲ 11.7	▲ 55.5	▲ 18.0	13.1	8.1
畑作	1.4	19.5	28.6	26.3	▲ 12.1	▲ 13.4	▲ 36.3	2.8	▲ 14.5	▲ 32.2	▲ 20.2	▲ 19.1	▲ 9.8
露地野菜	▲ 15.9	▲ 13.2	4.3	11.6	▲ 5.0	7.7	▲ 3.1	▲ 5.6	▲ 15.4	▲ 2.0	▲ 14.6	▲ 14.0	7.9
施設野菜	▲ 16.3	▲ 0.2	▲ 4.0	3.8	▲ 6.1	▲ 0.5	▲ 4.9	▲ 10.4	▲ 23.8	▲ 6.9	▲ 23.8	▲ 15.7	18.0
茶	▲ 15.4	▲ 18.5	12.8	25.8	▲ 11.1	▲ 31.6	▲ 14.3	▲ 32.4	▲ 54.2	▲ 32.1	▲ 55.7	▲ 47.3	▲ 32.9
果樹	▲ 29.0	▲ 17.9	▲ 14.6	▲ 0.7	▲ 18.6	8.6	▲ 4.9	▲ 13.0	▲ 34.1	▲ 0.9	▲ 9.7	▲ 11.7	3.7
施設花き	▲ 20.1	▲ 16.9	▲ 16.2	▲ 9.5	▲ 17.0	▲ 8.7	▲ 11.7	▲ 33.5	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 41.9	▲ 38.8	▲ 15.2
きのこ	▲ 25.7	6.2	▲ 4.1	▲ 15.0	▲ 15.0	2.2	8.4	9.3	▲ 20.4	▲ 51.8	▲ 56.0	▲ 47.1	▲ 47.0
酪農(北海道)	16.9	34.7	28.1	20.1	12.5	▲ 16.1	▲ 30.5	▲ 10.5	13.2	▲ 37.8	▲ 25.2	▲ 26.9	0.6
酪農(都府県)	▲ 10.6	4.4	11.9	14.1	0.1	▲ 21.6	▲ 45.0	▲ 32.6	21.8	0.0	▲ 24.1	▲ 24.2	4.3
肉用牛	▲ 45.2	0.6	15.1	36.8	30.9	18.0	▲ 14.1	▲ 33.4	▲ 20.7	▲ 7.4	▲ 62.9	▲ 47.4	▲ 19.6
養豚	48.0	25.4	▲ 10.8	34.3	23.6	11.6	16.9	▲ 28.0	▲ 52.4	15.5	17.3	▲ 6.2	▲ 22.3
採卵鶏	▲ 10.6	0.9	▲ 37.5	34.0	29.5	4.4	▲ 33.9	▲ 4.8	▲ 18.1	14.1	29.4	8.4	▲ 43.1
ブロイラー										▲ 20.0	▲ 21.4	▲ 6.3	0.0

2. 収支DI

(注)水稲及び畑作については、上半期調査時では多くが未収穫のため、収支は調査していません。

	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上半期	23年	24年上半期
農業全体	▲ 6.9	2.9	16.6	3.0	▲ 1.7	▲ 5.5	▲ 20.7	▲ 0.1	▲ 21.9	▲ 26.3	▲ 28.8	▲ 7.2	▲ 6.0
水稲(北海道)	7.7	▲ 25.2	34.8	▲ 55.1	▲ 23.8	1.9	▲ 17.0	56.2	▲ 45.7	▲ 40.8	-	54.7	-
水稲(都府県)	▲ 7.8	▲ 8.6	22.3	▲ 39.1	3.7	▲ 7.8	▲ 23.3	24.0	▲ 16.9	▲ 61.1	-	14.0	-
畑作	4.3	36.3	41.8	39.2	▲ 25.2	▲ 17.2	▲ 53.9	13.2	▲ 16.7	▲ 32.3	-	▲ 21.4	-
露地野菜	▲ 14.6	▲ 12.6	17.3	20.9	▲ 4.0	19.3	1.6	▲ 1.6	▲ 13.9	0.5	▲ 20.1	▲ 18.1	8.4
施設野菜	▲ 18.5	5.7	▲ 1.4	10.2	▲ 6.3	4.9	1.9	▲ 6.8	▲ 25.2	▲ 9.5	▲ 31.4	▲ 18.2	18.5
茶	▲ 31.8	▲ 33.0	24.3	37.7	▲ 24.0	▲ 54.2	▲ 6.7	▲ 39.3	▲ 76.4	▲ 26.3	▲ 51.7	▲ 44.9	▲ 23.7
果樹	▲ 33.6	▲ 14.7	▲ 12.8	3.4	▲ 19.8	20.2	5.1	▲ 9.5	▲ 45.7	1.4	▲ 18.3	▲ 12.2	0.8
施設花き	▲ 15.8	▲ 12.3	▲ 13.2	▲ 8.8	▲ 19.5	▲ 6.6	▲ 4.6	▲ 40.8	▲ 36.5	▲ 20.2	▲ 48.1	▲ 38.8	▲ 17.7
きのこ	▲ 34.8	18.7	▲ 12.4	▲ 21.4	▲ 18.0	9.2	13.8	16.3	▲ 34.4	▲ 50.0	▲ 53.7	▲ 46.5	▲ 47.0
酪農(北海道)	19.9	47.9	35.5	25.1	10.3	▲ 29.4	▲ 42.2	▲ 6.5	33.2	▲ 44.0	▲ 34.1	▲ 25.9	▲ 5.6
酪農(都府県)	▲ 13.6	11.1	23.3	22.2	2.4	▲ 29.6	▲ 58.8	▲ 35.5	39.5	▲ 0.8	▲ 25.7	▲ 27.7	6.1
肉用牛	▲ 64.5	10.2	25.3	61.0	46.4	23.8	▲ 21.7	▲ 50.2	▲ 31.4	▲ 5.7	▲ 64.4	▲ 49.9	▲ 24.0
養豚	66.1	34.8	▲ 26.6	49.7	30.0	12.9	26.3	▲ 38.2	▲ 70.4	21.3	18.8	▲ 4.2	▲ 27.0
採卵鶏	▲ 24.4	▲ 1.7	▲ 51.3	50.5	38.9	▲ 2.0	▲ 56.1	0.0	▲ 28.2	29.5	42.2	14.3	▲ 45.5
ブロイラー										▲ 5.5	▲ 18.5	▲ 10.9	3.6

### 3. 資金繰りDI

	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上半期	23年	24年上半期
農業全体	▲ 10.4	▲ 1.3	7.2	1.0	▲ 4.6	▲ 8.4	▲ 20.8	▲ 8.2	▲ 14.6	▲ 14.7	▲ 15.4	▲ 3.8	1.3
水稻(北海道)	3.3	▲ 11.1	15.9	▲ 36.3	▲ 21.4	▲ 5.6	▲ 8.0	26.8	▲ 20.2	▲ 18.2	▲ 10.3	34.5	6.7
水稻(都府県)	▲ 13.9	▲ 11.0	8.7	▲ 27.6	▲ 7.1	▲ 10.4	▲ 24.5	8.4	▲ 10.2	▲ 38.1	▲ 13.4	10.0	6.4
畑作	1.3	20.5	35.5	32.4	▲ 9.2	▲ 15.1	▲ 38.3	5.3	▲ 5.2	▲ 12.0	▲ 11.9	▲ 9.7	▲ 2.5
露地野菜	▲ 20.0	▲ 13.1	3.9	13.8	▲ 0.9	7.5	▲ 2.6	▲ 4.0	▲ 12.4	2.0	▲ 11.0	▲ 13.2	8.8
施設野菜	▲ 19.7	▲ 4.9	▲ 6.8	1.8	▲ 11.7	▲ 5.3	▲ 11.0	▲ 14.4	▲ 25.2	▲ 4.2	▲ 19.2	▲ 6.3	16.2
茶	▲ 20.1	▲ 24.5	6.5	21.5	▲ 15.1	▲ 38.2	▲ 24.3	▲ 37.3	▲ 57.5	▲ 28.9	▲ 40.7	▲ 33.0	▲ 18.7
果樹	▲ 31.8	▲ 19.5	▲ 16.7	0.9	▲ 22.4	9.8	▲ 4.5	▲ 11.0	▲ 32.4	▲ 6.6	▲ 2.5	▲ 8.7	4.0
施設花き	▲ 28.0	▲ 19.1	▲ 20.2	▲ 14.1	▲ 22.4	▲ 11.0	▲ 15.1	▲ 36.3	▲ 31.2	▲ 19.2	▲ 33.6	▲ 27.4	▲ 15.5
きのこ	▲ 40.2	4.4	▲ 3.1	▲ 21.4	▲ 19.8	▲ 4.2	12.6	6.7	▲ 22.3	▲ 37.3	▲ 44.0	▲ 39.6	▲ 34.0
酪農(北海道)	18.3	38.1	32.0	18.9	9.1	▲ 17.3	▲ 31.7	▲ 9.9	20.1	▲ 18.9	▲ 15.3	▲ 15.1	▲ 4.1
酪農(都府県)	▲ 15.3	0.5	9.3	10.1	▲ 8.2	▲ 35.7	▲ 60.0	▲ 36.4	28.3	3.5	▲ 18.7	▲ 17.8	5.4
肉用牛	▲ 55.9	▲ 0.9	8.3	37.4	32.6	16.8	▲ 22.0	▲ 40.1	▲ 19.5	▲ 2.8	▲ 49.5	▲ 26.7	▲ 2.6
養豚	51.8	26.9	▲ 16.5	33.6	23.5	10.8	13.2	▲ 41.0	▲ 61.1	16.7	18.3	▲ 4.2	▲ 11.7
採卵鶏	▲ 9.4	3.9	▲ 46.7	43.8	41.6	8.3	▲ 39.0	▲ 14.0	▲ 16.9	18.1	31.4	15.6	▲ 27.1
ブローラー										3.6	▲ 14.3	▲ 4.7	21.3

### 4. 販売単価DI (注)水稻及び畑作については、上半期調査時では多くが未収穫のため、販売単価は調査していません。

	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上半期	23年	24年上半期
農業全体	▲ 47.1	▲ 33.9	▲ 4.3	▲ 29.0	▲ 42.5	▲ 39.6	▲ 45.6	▲ 21.5	-	▲ 41.3	▲ 27.6	▲ 12.7	▲ 13.1
水稻(北海道)	▲ 38.5	▲ 68.9	17.7	▲ 86.7	▲ 80.4	▲ 42.1	▲ 60.4	5.7	-	▲ 84.0	-	32.9	-
水稻(都府県)	▲ 54.4	▲ 56.5	32.7	▲ 74.6	▲ 62.1	▲ 60.5	▲ 76.8	▲ 11.6	-	▲ 85.8	-	25.2	-
畑作	▲ 44.3	▲ 38.0	▲ 16.0	▲ 46.2	▲ 71.2	▲ 67.9	▲ 85.0	▲ 39.5	-	▲ 40.4	-	▲ 34.4	-
露地野菜	▲ 55.5	▲ 39.0	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 36.3	▲ 14.0	▲ 27.6	▲ 37.2	-	9.8	▲ 32.6	▲ 32.6	▲ 1.0
施設野菜	▲ 61.2	▲ 20.4	▲ 33.3	▲ 18.8	▲ 38.4	▲ 27.2	▲ 23.1	▲ 30.3	-	▲ 14.3	▲ 44.8	▲ 27.3	11.1
茶	▲ 58.3	▲ 38.3	▲ 4.5	▲ 3.0	▲ 58.5	▲ 68.5	▲ 47.1	▲ 71.3	-	▲ 36.6	▲ 49.1	▲ 43.0	▲ 42.8
果樹	▲ 68.9	▲ 28.7	▲ 30.0	6.1	▲ 56.2	17.7	▲ 21.5	▲ 33.2	-	20.1	▲ 16.3	▲ 15.1	1.7
施設花き	▲ 58.4	▲ 50.6	▲ 45.9	▲ 35.9	▲ 40.2	▲ 25.3	▲ 27.6	▲ 69.7	-	▲ 37.3	▲ 61.9	▲ 52.0	▲ 36.5
きのこ	▲ 77.2	▲ 9.9	▲ 55.8	▲ 65.6	▲ 61.3	▲ 21.0	▲ 14.0	▲ 14.4	-	▲ 69.9	▲ 76.0	▲ 53.9	▲ 72.3
酪農(北海道)	▲ 31.7	13.0	8.3	▲ 14.2	▲ 39.7	▲ 74.3	▲ 50.7	24.7	-	▲ 66.7	▲ 4.5	▲ 22.0	47.1
酪農(都府県)	▲ 40.5	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 8.1	▲ 44.8	▲ 72.6	▲ 62.0	2.8	-	▲ 5.9	▲ 5.5	▲ 24.0	▲ 8.2
肉用牛	▲ 78.6	▲ 12.4	42.6	62.6	58.4	28.4	▲ 30.4	▲ 71.8	-	▲ 33.6	▲ 78.7	▲ 65.4	▲ 30.7
養豚	65.7	10.2	▲ 51.8	52.0	28.5	16.2	68.7	▲ 28.1	-	11.2	40.2	▲ 22.9	▲ 38.1
採卵鶏	▲ 65.0	▲ 28.3	▲ 76.3	53.4	20.5	▲ 19.3	▲ 36.6	25.1	-	38.9	40.0	▲ 11.7	▲ 67.9
ブローラー										▲ 12.7	3.6	3.1	▲ 35.7

## 5. 生産コストDI

	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上半期	23年	24年上半期
農業全体	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 8.1	▲ 20.8	▲ 29.0	▲ 37.4	▲ 60.9	▲ 63.5	-	▲ 43.6	▲ 53.0	▲ 48.6	▲ 54.9
水稻(北海道)	▲ 4.6	▲ 7.3	▲ 0.4	▲ 28.4	▲ 34.4	▲ 35.1	▲ 55.2	▲ 65.3	-	▲ 47.8	▲ 62.5	▲ 53.5	▲ 64.4
水稻(都府県)	▲ 6.8	▲ 7.0	▲ 2.5	▲ 20.7	▲ 18.8	▲ 21.5	▲ 44.0	▲ 49.2	-	▲ 38.6	▲ 46.6	▲ 40.7	▲ 47.2
畑作	▲ 9.2	▲ 5.2	▲ 2.5	▲ 18.1	▲ 23.9	▲ 34.4	▲ 65.9	▲ 72.7	-	▲ 55.2	▲ 59.8	▲ 62.3	▲ 63.0
露地野菜	▲ 16.4	▲ 10.8	▲ 8.4	▲ 21.4	▲ 30.2	▲ 30.6	▲ 50.7	▲ 66.7	-	▲ 54.4	▲ 54.6	▲ 55.3	▲ 56.5
施設野菜	▲ 6.5	▲ 8.8	▲ 14.9	▲ 22.2	▲ 39.1	▲ 34.5	▲ 61.2	▲ 65.4	-	▲ 55.9	▲ 55.1	▲ 52.4	▲ 59.6
茶	▲ 4.8	▲ 0.4	0.0	▲ 7.2	▲ 25.6	▲ 33.5	▲ 55.8	▲ 66.7	-	▲ 38.1	▲ 50.3	▲ 53.1	▲ 61.8
果樹	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 18.7	▲ 19.5	▲ 23.7	▲ 21.3	▲ 41.8	▲ 48.6	-	▲ 46.0	▲ 40.7	▲ 38.1	▲ 48.4
施設花き	▲ 2.5	▲ 7.9	▲ 9.8	▲ 25.2	▲ 56.3	▲ 37.1	▲ 63.4	▲ 63.7	-	▲ 34.9	▲ 50.9	▲ 48.9	▲ 57.2
きのこ	8.7	15.4	0.8	▲ 14.5	▲ 35.1	▲ 16.8	▲ 55.2	▲ 58.7	-	▲ 38.6	▲ 42.2	▲ 43.1	▲ 48.5
酪農(北海道)	▲ 8.2	1.4	▲ 2.6	▲ 21.1	▲ 22.3	▲ 60.2	▲ 73.6	▲ 72.6	-	▲ 51.1	▲ 60.2	▲ 59.0	▲ 65.0
酪農(都府県)	▲ 25.5	▲ 26.9	▲ 17.4	▲ 18.7	▲ 40.6	▲ 70.2	▲ 87.3	▲ 74.2	-	▲ 34.0	▲ 53.9	▲ 53.9	▲ 56.4
肉用牛	▲ 6.0	▲ 17.3	▲ 18.1	▲ 26.4	▲ 35.3	▲ 52.8	▲ 80.2	▲ 79.8	-	▲ 42.3	▲ 57.6	▲ 38.0	▲ 55.0
養豚	▲ 4.6	▲ 9.2	▲ 32.0	▲ 21.8	▲ 14.8	▲ 50.2	▲ 78.9	▲ 71.8	-	▲ 21.0	▲ 59.6	▲ 48.7	▲ 49.6
採卵鶏	▲ 13.1	▲ 15.6	▲ 41.4	▲ 10.6	▲ 23.2	▲ 44.6	▲ 89.0	▲ 56.4	-	▲ 23.5	▲ 62.5	▲ 31.2	▲ 50.0
プロイラー										▲ 54.5	▲ 39.1	▲ 42.2	▲ 55.7

## 6. 今後の見通しDI

	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	半年経過時点		半年経過時点	
										23年	23年	24年	24年
農業全体	1.4	5.1	14.7	9.9	1.3	▲ 7.2	▲ 18.1	▲ 5.9	▲ 12.8	▲ 19.9	▲ 24.4	▲ 0.7	▲ 3.4
水稻(北海道)	2.2	▲ 21.8	▲ 3.8	▲ 46.8	▲ 42.8	▲ 32.5	▲ 22.3	▲ 3.2	▲ 20.8	▲ 41.3	▲ 14.3	▲ 6.8	▲ 13.4
水稻(都府県)	▲ 7.2	▲ 19.2	5.2	▲ 13.4	▲ 9.0	▲ 12.6	▲ 23.9	▲ 4.0	▲ 8.7	▲ 39.3	▲ 11.7	4.5	3.6
畑作	3.1	12.2	13.9	0.3	▲ 28.2	▲ 49.2	▲ 50.2	▲ 31.3	▲ 28.0	▲ 32.2	▲ 35.9	▲ 19.8	▲ 28.8
露地野菜	▲ 18.9	▲ 4.1	9.5	13.1	10.5	0.5	▲ 0.5	▲ 9.2	▲ 9.8	▲ 16.0	▲ 29.1	4.7	3.5
施設野菜	▲ 3.7	8.3	10.9	17.6	15.2	21.5	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 13.0	1.2	▲ 26.0	9.9	18.5
茶	▲ 6.6	8.0	14.2	18.1	8.1	▲ 1.6	▲ 19.6	▲ 46.7	▲ 52.2	▲ 19.1	▲ 47.4	▲ 16.6	▲ 30.4
果樹	5.9	4.8	14.4	30.1	16.9	39.7	24.4	3.8	0.8	▲ 2.6	▲ 27.4	14.2	11.6
施設花き	▲ 4.2	1.9	19.8	5.2	8.5	18.5	▲ 9.0	▲ 18.3	▲ 15.4	▲ 5.1	▲ 36.2	5.0	▲ 7.6
きのこ	▲ 19.6	17.6	▲ 2.3	▲ 3.1	2.7	19.3	16.1	10.6	▲ 14.1	▲ 32.5	▲ 48.6	▲ 14.7	▲ 47.0
酪農(北海道)	28.6	48.9	45.4	32.5	▲ 3.1	▲ 29.5	▲ 23.3	12.8	▲ 25.4	▲ 30.2	▲ 38.6	▲ 11.4	▲ 2.2
酪農(都府県)	8.9	39.0	45.2	48.9	14.4	▲ 22.6	▲ 36.1	26.7	7.7	▲ 5.1	▲ 24.7	9.2	15.1
肉用牛	▲ 24.7	26.9	34.7	34.6	34.0	31.3	▲ 21.1	▲ 10.9	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 67.4	▲ 6.8	▲ 11.1
養豚	42.1	25.2	40.6	46.6	48.3	17.5	2.8	▲ 13.7	1.9	▲ 4.7	21.6	12.5	▲ 8.3
採卵鶏	14.4	▲ 1.1	▲ 23.7	64.4	▲ 0.5	▲ 10.4	▲ 38.3	▲ 10.6	▲ 14.8	33.1	24.2	▲ 50.0	▲ 38.9
プロイラー										20.0	0.0	0.0	▲ 11.5

## 7 . 設備投資見込みDI

	18年	19年	20年	21年	22年	半年経過時点		半年経過時点	
						23年	23年	24年	24年
農業全体	▲ 8.6	▲ 4.7	▲ 9.0	▲ 2.5	-	▲ 33.9	▲ 10.3	▲ 25.4	▲ 0.5
水稻(北海道)	▲ 5.1	6.0	3.6	13.6	-	▲ 32.9	▲ 0.6	▲ 9.5	7.3
水稻(都府県)	▲ 3.0	4.5	▲ 7.4	11.8	-	▲ 30.1	4.1	▲ 8.5	21.3
畑作	▲ 15.5	▲ 12.6	▲ 20.4	▲ 0.9	-	▲ 22.8	▲ 3.8	▲ 19.5	▲ 2.1
露地野菜	▲ 7.3	▲ 8.3	0.0	▲ 6.4	-	▲ 29.6	▲ 14.6	▲ 26.5	▲ 0.9
施設野菜	▲ 6.6	▲ 4.8	▲ 2.1	▲ 5.4	-	▲ 34.6	▲ 4.3	▲ 30.2	5.7
茶	▲ 19.1	▲ 9.2	▲ 18.7	▲ 24.7	-	▲ 38.5	▲ 40.6	▲ 37.9	▲ 22.4
果樹	▲ 9.6	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 6.3	-	▲ 40.6	▲ 22.6	▲ 39.5	▲ 11.8
施設花き	▲ 12.2	▲ 8.2	▲ 15.7	▲ 25.4	-	▲ 57.5	▲ 38.9	▲ 40.2	▲ 22.3
きのこ	▲ 13.1	6.0	19.5	0.0	-	▲ 44.6	▲ 32.7	▲ 49.0	▲ 25.3
酪農(北海道)	▲ 32.2	▲ 26.5	▲ 18.0	▲ 7.4	-	▲ 52.1	▲ 28.1	▲ 50.7	▲ 28.1
酪農(都府県)	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 23.4	▲ 7.3	-	▲ 27.7	▲ 8.1	▲ 32.1	▲ 4.6
肉用牛	4.3	8.7	▲ 7.5	▲ 14.7	-	▲ 43.1	▲ 31.9	▲ 38.5	▲ 15.8
養豚	9.9	9.9	11.3	▲ 7.5	-	▲ 27.3	4.3	▲ 23.2	▲ 8.3
採卵鶏	3.6	0.5	▲ 23.5	▲ 9.6	-	▲ 20.0	5.9	▲ 23.4	▲ 11.1
ブロイラー						▲ 9.1	15.9	▲ 21.9	▲ 4.9

※設備投資見込みDIは、調査実施当年中の設備投資を「予定している」(半年経過時点調査は、「実施済み」と「予定している」の合計)の構成比から、「予定していない」の構成比を差し引いたもの。